

発明功労賞

(50音順)



■ふっ素樹脂膜材への印刷方法
 法Ⅱ中興化成工業（アーキ
 ・エクスポートプロダクト
 部・田村成教氏ほか1人）
 フッ素樹脂で表面を保護し
 た膜材に特殊な表面処理を行
 うことにより印刷を可能にす
 る。熱可塑性のフッ素樹脂表
 面に、粒径20ナノ〜30ナノ（ナ
 ノは10億分の1）の粒子を固
 着。印刷に必要なインクを染
 みこませることができるとい
 う。層「インク受理層」を形成し
 た。
 フッ素樹脂表面は化学的・
 表面工学的に安定しているた
 め印刷は難しかった。ナノサ
 イズの粒子を印刷時に使う技
 術はあったが、粒子でインク
 受理層を形成するのは初めて
 という。
 4）（中興化成工業Ⅱ東京都港
 区、03・6230・441

第46回

発明大賞

受賞製品・技術のポイント

日本発明振興協会（石井卓爾会長、03・3464・6991）と日刊工業新聞社共催の「第46回（2020年度）発明大賞」に20件の発明が選ばれた。発明大賞は発明考案を通じて産業の発展や国民生活の向上に寄与した資本金10億円以下の中堅・中小企業や個人、グループに贈られる。18日に予定していた表彰式は見合わせる。